

第 34 回上野の森美術館大賞展

▶ 「上野の森美術館絵画大賞」は、技法の違いや既成の概念にとらわれることなく、次世代の絵画を担う才能を顕彰助成することを目的に、毎年開催されています。第 34 回目の今年は、審査委員、浅野 均、遠藤彰子、岡村桂三郎、北田克己、中山忠彦、福田美蘭、保科豊巳、水野政一（各氏）により、2月 29 日（月）、3 月 1 日（火）の 2 日間にわたり審査を行いました。今回の応募総数は 1,011 点（712 人）で、絵画大賞 1 点（1 名）と、優秀賞 4 点（4 名）が選出されました。絵画大賞は井上舞（イノウエマイ）さん、優秀賞・彫刻の森美術館賞に菅澤薫（スガサワカオル）さん、優秀賞・フジテレビ賞に桑原愛（クメハラアイ）さん、優秀賞・ニッポン放送賞に成田淑恵（ナリタヨシエ）さん、優秀賞・産経新聞社賞に櫻井あすみ（サクライアスミ）さんがそれぞれ決定しました。

* 内訳：大賞 1 点、優秀賞（大賞以外の冠賞）4 点、賞候補 13 点、一次賞候補 29 点、入選 117 点

* 本年開催／第 34 回展：1,011 点（712 人）、入選作品 164 点（164 人＊賞含む）

* 昨年開催／第 33 回展：854 点（602 人）、入選作品 136 点（135 人＊2 点入選者ありのため）

* 一昨年開催／第 32 回展：1,102 点（760 人）、入選作品 238 点（238 人）

▶ いつもにまして賞を決める段階で審査員の票が割れ、投票を重ねても絞り切れない状況が続く中で、大賞受賞の井上舞さんの作品「メカ盆栽～流れるカタチ～」がもつ、日本画としての新鮮な印象が受賞の決めてとなりました。

盆栽という「日本」的なイメージの中に、機械という現代のモチーフを引用していく方法は、今日において、さして目新しいものではありませんが、従来の範疇にとらわれない自由な感覚が生きている、と、若い感性に対しての今後の期待も込めて評価されました。

なお、本展では昨年につづき、展示替え無しで通期で展示いたしますので、入選作品を一堂にご覧いただけます。

以上、本展を貴媒体等でご紹介くださいますよう、ご協力のほどよろしくおねがいいたします。

概要 第 34 回上野の森美術館大賞展

主 催：（公財）日本美術協会 上野の森美術館、彫刻の森美術館、フジサンケイグループ

〔関西展〕 産経新聞社

後 援：〔関西展〕 京都府、関西テレビ放送

特別協力：〔関西展〕 京都府京都文化博物館

会 期：2016 年 4 月 27 日（水）～ 5 月 8 日（日） 会期中無休

授賞式・レセプション：4 月 26 日（火） 15：00～

時 間：午前 10 時～午後 5 時（入場は閉館 30 分前まで）

入場料：一般 600 円、大学生 400 円、高校生以下無料

* 障がい者とその付き添いの方 1 名は無料、入館の際に障がい者手帳などをご呈示ください。

〔巡回展〕 〔関西展〕 京都府京都文化博物館

5 月 31 日（火）～ 6 月 5 日（日） 10:00～18:00（会期中無休）

〔本展同時開催〕 第 33 回上野の森美術館大賞展入賞者展

昨年の受賞者、高木陽、中嶋精次、青木萌、橋本大輔、今井陽子の近・新作をご覧いただけます。

第34回上野の森美術館大賞展受賞者



上野の森美術館絵画大賞

井上 舞 INOUE, Mai 1993年 大阪府生まれ

〔現在〕 京都市立芸術大学美術学部美術科日本画専攻在籍

《メカ盆栽～流れるカタチ～》 日本画 162.1×136.4cm

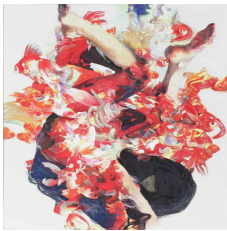


優秀賞 彫刻の森美術館賞

菅澤 薫 SUGASAWA, Kaoru 1989年 埼玉県生まれ

〔現在〕 筑波大学大学院人間総合科学研究科博士前期課程芸術専攻洋画領域在籍

《赤い蜘蛛の巣》 油彩 F100



優秀賞 フジテレビ賞

桑原 愛 KUMEHARA, Ai 1989年 埼玉県生まれ

《反芻する情景》 日本画 S100



優秀賞 ニッポン放送賞

成田 淑恵 NARITA, Yoshie 1983年 岐阜県生まれ

《Voice》 油彩、アクリル S100



優秀賞 産経新聞社賞

櫻井 あすみ SAKURAI, Asumi 1983年 東京都生まれ

〔現在〕 東京芸術大学大学院美術研究科美術教育研究室修士課程在籍

《fragments》 日本画 S100